

尹ノ上
まづ

約束の時間係五分 と言ふが題の中にある

だから早く早めに行く 加不此をれふニと

が多い 至るに不安がとちやう

紅毛の台北へ行つた時 船行程の善く時州河

知らねえ 空港でキヨロく 欠乏ありしを

が録書の未か文の人や来ていない

三十分以内で戻つた ころりや在りて 第3号

と思つて かえりの最終探の手続をしていふ

脚 どこかで「先」といふ声水した 日本語だ

これ何容身だ ころり思つた時又先ととり

声 ぶり木えると道訳バころりを包つた

いろ 四十分以内 ずとくくる事してと

思つたがここの外国だ ありあふ ありあふ

ろごぶい 予言と言ふ ちう少しあふれて

最後ら最終探でかえるところだうだ

スナートがころりだ ころりあふるも受請を

ほ 丁ノと一時あふくただうだ

とどかく時間にはいふた ありあふるのこ

とど 任事すい

ところが回ぬまで

友人が「大宮へ一緒に電車をしていって」といって

「乗って」またありせば「さあ十一時だ

定刻より早やゆに 子どまりの世の場所へ行

た。 子どまりの目しろしおあり 夕せいの人

が時針を欠すかろ子どまり

私もかんばつて一時返す、た

しかしこわいおかしいとおい、てとどまり

すると「てれ」おの 彼女の天衣「今行くぞ」

「啞然」として 彼女のあはれ「神楽の心

今から三時お後お大宮に着くこととある

すくと「三時だ」一人でお手をすくせ

魂を その友人とほつきり、てい